

令和 5年 8月 30日

東員町議会

広 田 久 男 様

東員町議会

片 松 雅 弘

## 研 修 報 告 書

研修期間	令和 5年 8月 28日 (月) ～ 8月 29日 (火)【 2日間】
研修(視察)先	全国町村議員会館・神奈川県開成町
目的(テーマ等)	広報クリニック 先進地視察
参加議員 (複数の場合)	広田久男・山崎まゆみ・三林 浩・片松雅弘・中村 等・大崎昭一
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

広報広聴常任委員会では、現在議会だよりの作成をしています。もっと読んでもらえる紙面や伝わる内容を目指して日々試行錯誤しながら行っています。

しかしこれからは、広報だけではなく広聴にも力を入れていかなくてはいけないと思います。

視察 1 日目は、議会広報クリニックとあって全国の町村から議会だよりを制作している議員さんが集まって講師の先生のアドバイスを受けて今後の活動に生かすものです。

講師の先生は、文章コンサルティングファーム未来交創代表取締役 前田安正氏であります。読み手に伝わる文章にするための講座をうけてきました。

いい文章とはなにかの問いでは、「自分にしか書けないことを誰にでもわかる文章で書くこと」ところが「誰にでも書けることを誰にも分らない文章で書いて入る」また、「伝える」文章ではなく「伝わる文章」にするために、自分がわかっている事は皆もわかっているという心理で正確に伝わりづらい事例や、誤解されやすい「等」という表現の使い方をお聞きしました。

また第三者に伝わるテクニックとして、いつ・誰が・どこで・何を・どうした？という基本の文章に加え WHY を加えることで状況→行動→変化でより豊かな表現をしたり、短い文章をつなげて簡潔にして読み手の負担を減らすことも大切な内容でした。

2 日目は、広報誌をタブロイド紙にしてホームページの内容を充実させている神奈川県開成町に視察研修に行きました。

開成町は議会だよりの紙面をタブロイド紙にしただけでなくホームページも行政から独立して議会独自の動画配信やウェブサイトを開設しています。

トップページも議員の顔から始まるムービーで、非常にインパクトがあり、議員紹介のページや委員会紹介も動き出す自己紹介ムービーで、2 クリックで目的のページにたどり着くようにしてありました。

議員に貸与されているタブレットを活用して動画を作成したり、議員間で情報や内容をやり取りしたりしています。東員町の議員に貸与されているペーパーレスのみの使えないタブレットと違い無料のアプリなど活用していました。東員町でも動画配信やホームページのウェブサイトの充実を図るためにも、タブレットの更新はすぐにでもすべきだと思います。

開成町は他にも議会改革や広聴に力を入れ、定期的に議会報告会を行い、議場を中学生以上の人に自習室として開放し広報広聴の改革をしています。

東員町においても昨年度は、町民を語る会や議場コンサートなどをおこない開かれた議会活動が行われましたが、令和 5 年度では「町民と語る会」は 1 度も開かれることなく、そのことにつきましたも残念ですが議運でも開かれておりません。

今回の先進地や手本となる他の市町村を視察し意見交換もできたことは、私にとって有意義な研修でした。

議員 1 人一人が志を持ち、チーム東員で頑張れたら良いと思います。